

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北辰商事株式会社ロヂャース上尾物流倉庫 新築工	階数	地上3F
建設地	埼玉県上尾市	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年12月9日
敷地面積	9,277㎡	作成者	財団法人建築環境総合研究所 宇津見 聡
建築面積	4,182㎡	確認日	2024年12月9日
延床面積	9,393㎡	確認者	財団法人建築環境総合研究所 宇津見 聡



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2 (温暖化影響チャート)

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超 ★

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	52%
③ 上記②以外の	52%
④ 上記③	52%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2.4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
外壁を道路境界から5m以上セットバックさせることで、圧迫感のある長大な壁面とならないよう配慮した。また、排気口には緑地を配置し周辺環境に溶け込むデザインとした。	
評価対象外	Q2 サービス性能 壁長さ比率を低く設計し、建物のサービス性能の向上に努めている。
LR1 エネルギー BEIm=0.00としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用している。
	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO2排出率52%とし、光害抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

(反称)北辰商事株式会社ロヂャース上尾物流倉庫 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q1 建築物の環境品質					2.5
1 音環境					
1.1 室内騒音レベル					
1.2 遮音					
1 開口部遮音性能					
2 界壁遮音性能					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					
1.3 吸音					
2 温熱環境					
2.1 室温制御					
1 室温					
2 外皮性能					
3 ゾーン別制御性					
2.2 湿度制御					
2.3 空調方式					
3 光・視環境					
3.1 屋光利用					
1 屋光率					
2 方位別開口					
3 屋光利用設備					
3.2 グレア対策					
1 屋光制御					
3.3 照度					
3.4 照明制御					
4 空気質環境					
4.1 発生源対策					
1 化学汚染物質					
4.2 換気					
1 換気量					
2 自然換気性能					
3 取り入れ外気への配慮					
4.3 運用管理					
1 CO ₂ の監視					
2 喫煙の制御					
Q2 サイロステータス					3.5
1 機能性					
1.1 機能性・使いやすさ					
1 広さ・収納性					
2 高度情報通信設備対応					
3 バリアフリー計画					
1.2 心理性・快適性					
1 広さ感・景観					
2 リフレッシュスペース					
3 内装計画					
1.3 維持管理					
1 維持管理に配慮した設計					
2 維持管理用機能の確保					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振					
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.50		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.80		
2.2 部品・部材の耐用年数					
1 躯体材料の耐用年数		2.7	0.30		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.20		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		2.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要2用途にC以上	3.0	0.10		
6 主要設備機器の更新必要間隔		4.0	0.20		
2.4 信頼性		2.0	0.20		
1 空調・換気設備		3.2	0.20		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3 電気設備		3.0	0.20		
4 機構・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		

3 対応性・更新性			4.2	0.50			4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
	1 階高のゆとり	階高:4.60m以上	5.0	0.60			
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.092	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		4500N/㎡以上	5.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 暮らし環境(快適性)				0.87			1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50			
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性				0.82			3.6
Q4 建築物の環境負荷低減性				0.82			7.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-			
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEQ][BEIm] *	5.0	0.63			5.0
4 効率的運用			3.0	0.25			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
	4.1 モニタリング		-	-			
	4.2 運用管理体制		3.0	1.00			
	集合住宅の評価						
	4.1 モニタリング						
	4.2 運用管理体制						
LR2 資源・エネルギー				0.82			2.6
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
	1.1 節水		3.0	0.40			
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60			2.8
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20			
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	QAフロア、LGS下地を採用	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
	1 消火剤		-	-			
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
	3 冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.82			3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率52%	4.9	0.33			4.9
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25			
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25			
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
	1 騒音		3.0	1.00			
	2 振動		-	-			
	3 悪臭		-	-			
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
	1 風害の抑制		3.0	0.70			
	2 砂塵の抑制		-	-			
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30			
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20			
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害抑制に配慮している	5.0	0.70			
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)北辰商事株式会社ロチャ-BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	---------------------	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア	=	6.9	
4.9	2.0			
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.9
ライフサイクルCO2排出率52%			
(2) 緑の保全・創出		スコア	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

: 入力欄